［参考書式］

設計内容説明書（省エネルギー性）

断熱等性能等級用
RC造等用

建築物の名称：

確認項目	設計内容説明欄				設計内容確認
	項目		設計内容	記載図書	
適用する基準	適用する基準		□ 性能基準 □ 仕様基準		□ 適 □ 不適
□ 性能基準による場合 （　）地域	外皮平均熱貫流率		外皮平均熱貫流率UA （　W／㎡･K　）	□ 計算書 □ 仕上表 □ 平面図	□ 適 □ 不適
	冷房期の平均日射熱取得率		冷房期の平均日射熱取得率 ηAC （　）	□ 矩計図 □	
□ 仕様基準による場合 （　）地域	適用条件		開口部比率※　（　） ※区分(に)の仕様とする場合、記入は不要です。	□ 仕様書 □ 仕上表	□ 適 □ 不適
	躯体の断熱性能等		□ 熱貫流率の基準に適合 □ 断熱材の熱抵抗の基準に適合	□ 平面図 □ 矩計図	
	開口部の断熱性能等		開口部比率の区分 □ 区分(い)　□ 区分(ろ)　□ 区分(は)　□ 区分(に) □ 緩和措置有り □ 窓の断熱(2%緩和)　□ 窓の日射(4%緩和)	□	
	躯体の断熱性能等	断熱材の仕様	屋根　（　） 天井　（　） 壁　（　） 床　外気に接する部分　（　） その他の部分　（　） 土間床等の外周部　外気に接する部分　（　） その他の部分　（　）	□ 仕様書 □ 仕上表 □ 平面図 □ 矩計図 □	
	開口部の断熱性能等	窓･ドア等の断熱性	建具･ドア枠の材質･形状 建具形態　ガラスの種類･構成等 （　）（　） （　）（　） （　）（　）	□ 仕様書 □ 仕上表 □ 平面図 □ 矩計図 □	
		窓･ドア等の日射遮蔽措置	方位　ｶﾞﾗｽの日射侵入率等　ひさし･軒･付属部材等 （　）（　）（　） （　）（　）（　） （　）（　）（　） （　）（　）（　）	□ 仕様書 □ 仕上表 □ 平面図 □ 矩計図 □	
結露防止対策	結露の発生防止対策		□ 防湿層の設置(繊維系断熱材等の場合) □ 設置　□ 省略 □ 通気層の設置(断熱構造とする場合) □ 屋根　□ 有(　)　･防風層の設置(　) □ 省略 □ 外壁　□ 有(　)　･防風層の設置(　) □ 省略 □ 内断熱工法 □ 断熱材を構造躯体に全面密着等	□ 仕様書 □ 仕上表 □ 矩計図 □	□ 適 □ 不適
熱橋部対策	熱橋部の断熱補強対策		・ 構造熱橋部の断熱補強措置 断熱材の熱抵抗又は断熱材の種類と厚さ （　） 補強範囲（　mm）	□ 仕様書 □ 仕上表 □ 矩計図 □	□ 適 □ 不適

注1）フラット35S（優良な住宅基準（省エネルギー性））に関する基準は、住宅性能表示制度の断熱等性能等級の等級4及び一次エネルギー消費量等級の等級4以上になります。本基準により申請する場合は、本書式に加え、一次エネルギー消費量等級用の設計内容説明書を提出ください。

注2）太枠で囲われた欄は、設計者等が記入してください。なお、この欄に記載されている事項は、必要な範囲内で、個別の検査において変更することができます。

注3）書式内の欄に記載事項が入らない場合は、別添用紙を用いることができます。この場合は、別添用紙に番号等を付し、該当する欄に当該番号欄を記載してください。

2021年1月